

【地理的分野】

○学習指導要領の内容 A（1）

【歴史的分野】

○学習指導要領の内容 C（1）

1 本時の学習

(1) 本時の目標

・北方領土、竹島と尖閣諸島について、日本と周辺国との間に領土をめぐる対立が生じていることを理解する。

(2) 本時の展開

○学習活動・学習内容	■指導上の留意点及び 北方領土教材の活用例
<p>〈導入〉</p> <p>○日本の領土をめぐる紛争について聞いたことがあるか確認し、地図帳や資料集などを見て、気付いたことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土、竹島、尖閣諸島について ・北方領土問題について聞いたことがあるか。 (島の名前を知っているか) ・北方領土の場所や名前を確認。 ・どんなことが問題になっているか。 	<p>■北方領土検定自然編、等を使用。 地図帳や資料集を開かせる。あれば北方領土の現地の写真を出す。</p> <p>■政府は、尖閣諸島は日本固有の領土であり、領土問題は存在しないという立場である。</p> <p>■納沙布岬のすぐ目の前であることに気付くことができるようにする。</p>
<p>〈展開1〉</p> <p>○北方領土を巡る歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日露和親条約 ・千島樺太交換条約 ・ポーツマス条約 <p>により国境がどう変わったかを説明する。</p> <p>○3つの条約での領土変遷を、白地図で日本領を塗らせたり、国境線を引かせて確認する。</p>	<p>■中学生用ワークシート⑤を使って、3つの条約時の国境をそれぞれ書かせた後、一つに重ねてみると北方4島がずっと日本の領土だったことがわかりやすい。</p> <p>■平和的な交渉のなかで、北方領土の中でずっと日本の領土だったところはどこか気付くことができるようにする。</p>

○学習活動・学習内容	■指導上の留意点及び 教材の活用例
<p>〈展開2〉</p> <p>○終戦前後の歴史に触れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤルタ会談 ・ポツダム会談 7/17～ ・広島への原子爆弾の投下 8/6 ・ソ連参戦 8/8 ・長崎への原子爆弾の投下 8/9 ・ポツダム宣言受諾通告 8/14 ・玉音放送 8/15 ・ソ連千島へ侵攻開始 8/18～ ・降伏文書調印 9/2 <p>○日本がポツダム宣言を受け入れたのはどれがきっかけか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/15以降にソ連が侵攻したことに気付くことができるようにする。 	<p>■時系列で説明する。</p> <p>■<u>高校生用ワークシート①</u>や千島列島の地図を示す。</p> <p>■占守島の位置を確認する。</p> <p>■8/15で戦闘は終わったがその後、占守島でもソ連軍は攻め、千島列島を占領したことを説明する。</p> <p>■ポツダム宣言受諾のきっかけは諸説ある。いくつか重なって受諾したと思われる。</p> <p>■米ソが日本の敗戦のきっかけをつくりたかったことに注目できるようにする。</p> <p>■ソ連侵攻後しばらくは島民も暮らしていたが、その後島を追われた。</p> <p>■いつから占拠されたのかを理解できるようにする。</p>
<p>〈まとめ〉</p> <p>○1956年の日ソ共同宣言</p> <p>○不法に占拠されたものだから、日本が返還を要求していることを説明する。</p>	<p>■元島民が今もいて、過去の出来事ではないことにも気付くことができるようにする。</p> <p>■なぜロシアは返還に応じようとならないのか、日ソ共同宣言での2島返還や、日米安全保障条約の米軍基地について、説明して考えることができるようにする。</p>

令和3年3月